

# 渋谷区民のためのチャリティーコンサート

## 都内中部朝日会渋谷ブロック会

### コンサート入場料の一部を 図書購入費として 区内小学校へ寄付

#### ●実施期間

2005年～

#### ●実施地域

東京都渋谷区

#### ●活動概要

都内中部朝日会渋谷ブロック会では、2005年秋から購読者を対象に、オペラやバイオリン演奏などのクラシックチャリティーコンサートを実施、その入場料の収益金の一部を渋谷区内の公立小学校へ図書購入費用に充て寄付する活動を続けている。

寄付は、教育委員会協力のもと、年1回、学校側へ事前に希望図書を募ったうえで、書店から届けている。

図書のほか、第1回は地元社会福祉協議会に車椅子5台を寄付している。複数の寄贈先からは、感謝の手紙届けられている。

\*

都内中部朝日会渋谷ブロック会＝渋谷区の朝日新聞系統の8販売所で組織。富岡憲義（とみおか・のりよし）代表

#### ■朝日新聞の読者向け折り込みチラシ

秋の夕べ、美しい響きと共に・・・  
第1回 渋谷区民のためのクラシックチャリティーコンサート

渋谷区のASA9店（渋谷朝日会）でクラシックコンサートを企画しました。チケット売上げを渋谷区の福祉や教育に寄付するチャリティーコンサートです。第1回目の今回は、ご来店中の方のヴァイオリン・篠崎功子さん/ハープ・篠崎史子さんによるデュオコンサートです。スタイリッシュな空間のハクジュホールで心地よいひとときをお過ごしください。

10月25日(火) 開場 18:30 開演 19:00  
会場 榎 HAKUJU HALL

篠崎 功子 Violin Isako Shinozaki  
篠崎 史子 Harp Ayako Shinozaki

全席自由 ¥3,000  
開場 18:30 開演 19:00  
8月28日受付開始

お申し込み・お問い合わせ  
渋谷朝日会フリーダイヤル 0120-08-4353  
受付午前9時～午後5時

主催 渋谷朝日会  
協賛 白寿ホール 榎クレアート  
後援 渋谷区社会福祉協議会

#### ■活動の特長

- 寄付をするためパンフ・チケット・折り込みと全て手作り。
- チケットを届ける際、郵便を使わず各店の配布。
- 出演者の出演料は車代ののみ。

#### ■渋谷朝日会チャリティーコンサート紹介

第一回	名目 「第一回 渋谷区民のためのクラシックチャリティーコンサート」
日時	2005年10月25日
場所	白寿ホール（富ヶ谷）300席
出演	篠崎功子（ヴァイオリン） 篠崎史子（ハープ）
価格	3,000円 全席自由
販売	270席販売 全席完売
告知	朝日新聞の読者への折り込み
後援	渋谷区社会福祉協議会
寄付内容	渋谷区社会福祉協議会に車椅子5台（16万円）現金40万円総額56万円。二回目から寄付をこれからの子供たちへという方針を決定。区立の小学校への図書に決定。
第二回	名目 「第二回 渋谷区民のためのクラシックチャリティーコンサート」
日時	2006年（コンピューターデータ破損のため不明）
場所	白寿ホール（富ヶ谷）300席
出演	篠崎功子（ヴァイオリン） 篠崎史子（ハープ）
価格	3,000円 全席自由
販売	270席販売 全席完売
告知	朝日新聞の読者への折り込み
寄付内容	渋谷区の区立小学校全20校各校3万円の総額60万円を図書として寄付。
第三回	名目 「第三回 渋谷区民のためのチャリティーコンサート」
日時	2009年6月7日
場所	白寿ホール（富ヶ谷）300席
出演	香川美智子、下園理恵、志茂征彦
価格	3,000円 全席自由
販売	270席中220席販売
寄付内容	渋谷区の区立小学校20校各校1万円の総額20万円を図書として寄付。
第四回	名目 「第四回 渋谷区民のためのチャリティーコンサート」
日時	2010年11月7日
場所	古賀記念館（代々木上原）220席
出演	香川美智子、櫻井淳、原島慈子
価格	3,000円 全席自由
販売	200席中180席販売
後援	渋谷区教育委員会
寄付内容	渋谷区の区立小学校20校各校1万円の総額約20万円を図書として寄付。2回、3回、4回目は渋谷区教育委員会の協力のもと各校から図書のリクエストを取ってもらった。今後も年1回ペースで開催し小学校への図書の寄付をしていく予定。

#### ■当日配布パンフ（第1回、第4回）

第1回 渋谷区民のためのクラシックチャリティーコンサート

10月25日(火) 開場 18:30 開演 19:00  
会場 榎 HAKUJU HALL

主催 渋谷朝日会  
協賛 白寿ホール 榎クレアート  
後援 渋谷区社会福祉協議会

第四回 渋谷区民のためのチャリティーコンサート

11月7日(日) 開場13:00 開演13:30

主催 渋谷朝日会  
後援 渋谷区教育委員会

#### ■第一回の寄付先である、渋谷区社会福祉協議会からきた受領書と掲載紙「shibuya社協だより」

寄附物品受領書

品名 車椅子 5台

平成17年11月19日

shibuya社協だより No.147

社協だより 平成17年12月

皆さまの心温まる善意に感謝申し上げます。

平成17年度の寄附累計額98件3,721,634円です。

氏名	金額	氏名	金額	氏名	金額
千代田 千代子	14,250	千代田 千代子	14,250	代々木1丁目	14,250
山崎 山崎	10,000	山崎 山崎	10,000	代々木2丁目	10,000
山崎 山崎	74,516	山崎 山崎	74,516	代々木3丁目	74,516
山崎 山崎	10,000	山崎 山崎	10,000	代々木4丁目	10,000
山崎 山崎	10,000	山崎 山崎	10,000	代々木5丁目	10,000
山崎 山崎	10,000	山崎 山崎	10,000	代々木6丁目	10,000
山崎 山崎	10,000	山崎 山崎	10,000	代々木7丁目	10,000
山崎 山崎	10,000	山崎 山崎	10,000	代々木8丁目	10,000
山崎 山崎	10,000	山崎 山崎	10,000	代々木9丁目	10,000
山崎 山崎	10,000	山崎 山崎	10,000	代々木10丁目	10,000
山崎 山崎	10,000	山崎 山崎	10,000	代々木11丁目	10,000
山崎 山崎	10,000	山崎 山崎	10,000	代々木12丁目	10,000
山崎 山崎	10,000	山崎 山崎	10,000	代々木13丁目	10,000
山崎 山崎	10,000	山崎 山崎	10,000	代々木14丁目	10,000
山崎 山崎	10,000	山崎 山崎	10,000	代々木15丁目	10,000
山崎 山崎	10,000	山崎 山崎	10,000	代々木16丁目	10,000
山崎 山崎	10,000	山崎 山崎	10,000	代々木17丁目	10,000
山崎 山崎	10,000	山崎 山崎	10,000	代々木18丁目	10,000
山崎 山崎	10,000	山崎 山崎	10,000	代々木19丁目	10,000
山崎 山崎	10,000	山崎 山崎	10,000	代々木20丁目	10,000

# 熟年者の安心生活応援ネットワーク

## 江戸川区新聞販売同業組合

### 江戸川区と協力し、高齢者の安否を気遣う活動と自分たちで街を守るパトロール実施

#### ●実施期間

2002年8月～

#### ●実施地域

東京都江戸川区全域

#### ●活動概要

江戸川区新聞販売同業組合は、2002年8月から65歳以上の高齢者世帯を対象に、同区の「熟年者のための安心生活応援ネットワーク」事業への協力を始め、「新聞がポストに何日もたまっている」などの安否に異変を感じた場合に、江戸川区や民生委員へ通報している。

このほか同組合では、「安全安心パトロール隊」を結成して、自分たちの街は自分たちで守る精神で、新聞配達という機動力を活かしたパトロールを続けている。

\*

江戸川区新聞販売同業組合＝江戸川区の全系統61販売所で組織。菊池正和（きくち・まさかず）組合長

#### ■江戸川区への協賛、寄贈、協力事項一覧

① 毎年・継続	江戸川区区民まつり広告掲載協賛 (江戸川区生活振興部地域振興課コミュニティ係)
② 2年1回5～6月配布 継続	くらしの便利帳広告掲載協賛(江戸川区経営企画広報課編集係)
③ 2010年5月11日	パソコン寄贈(江戸川区福祉部介護保険課)
④ 2006年7月	野外活動用ドーム型テント寄贈
⑤ 2005年2月2日	公園用ベンチ寄贈(江戸川区環境促進事業団)
⑥ 2004年5月7日	車いす5台寄贈
⑦ 2003年3月より現在に至る	安心生活応援ネットワーク連絡会 (江戸川区すこやか熟年介護保険課)
⑧ 2004年12月6日	安全安心パトロール出発式 (江戸川区環境推進課・小岩、葛西、小松川各警察署協力)

江戸川区新聞販売同業組合「安全・安心パトロール」について  
結成日時：2004年12月6日結成  
活動内容：朝・夕の新聞配達時に2,000台のバイクでパトロールを実施  
駅頭での歩きたばこポイ捨てマナーアップ啓発活動

No.	年度	月	日	地区	場所	団体	人数	テッシュ
1	2008	9	8	小岩	JR小岩駅	江戸川区新聞販売同業組合	60	1,200
2	2008	9	22	葛西	西葛西駅	江戸川区新聞販売同業組合	60	1,200
2008年度実績計 120 2,400								
1	2009	7	13	葛西	西葛西駅	江戸川区新聞販売同業組合	30	1,000
2	2009	9	10	小岩	JR小岩駅	江戸川区新聞販売同業組合	50	1,500
3	2009	9	17	葛西	西葛西駅	江戸川区新聞販売同業組合	55	1,500
2009年度実績計 135 4,000								
1	2010	7	14	葛西	西葛西駅	江戸川区新聞販売同業組合	55	2,500
2	2010	7	20	小岩	JR小岩駅	江戸川区新聞販売同業組合	50	2,000
3	2010	9	14	小松川	JR平井駅	江戸川区新聞販売同業組合	40	1,500
2010年度実績計 145 6,000								

2008年度以降 駅頭歩きたばこポイ捨て マナーアップ啓発キャンペーン実施結果

出発の様子(江戸川区ホームページより)  
江戸川区新聞販売同業組合は、日ごろからお世話になっている区民の皆さんのお役に立ちたいと、安全・安心パトロール隊を結成し、2004年12月6日、総合文化センターで区長、3警察署長が出席し盛大な出発式が行われました。出発式で菊池組合長代行は、「自分たちのまちは自分たちで守る精神で、新聞配達という機動力を活かしパトロールを続けたい。多くのバイクが区内隅々まで走ることによって犯罪抑止効果は大きい」と挨拶。  
同組合は、新聞各社6紙の区内販売店で組織し、店舗数は82店。配達用のバイク・自転車約2,000台に「安全・安心パトロール中」の表示幕を付け、朝・夕の配達時に事件・事故を目撃した際は直ちに警察へ通報するなど、街の安全・安心を見張ります。



### 自分たちで街を守る

江戸川新聞販売組合パトロール  
新聞配達の機動力とネットワークを生かして、安全・安心パトロールを開始した。各販売店が所有しているバイクや自転車約二千台に「安全・安心パトロール中」と書いたオレンジ色の

この日、区総合文化センターへ中央四で開かれた出発式には、多田正見区長や配達員約五百十人が参加。その後、配達員たちはバイクや自転車に乗り込み、白バイや区のパトロールカーに先導されて、会場周辺をパレードした。同組合の菊池正和・組合長代行は「自分たちの街は自分たちで守るという精神で、犯罪件数の減少に向けてパトロールを続けていきたい」と話していた。

この日、区総合文化センターへ中央四で開かれた出発式には、多田正見区長や配達員約五百十人が参加。その後、配達員たちはバイクや自転車に乗り込み、白バイや区のパトロールカーに先導されて、会場周辺をパレードした。同組合の菊池正和・組合長代行は「自分たちの街は自分たちで守るという精神で、犯罪件数の減少に向けてパトロールを続けていきたい」と話していた。

幕を取り付けて走ることで、住民に犯罪防止に対する意識を持ってもらうほか、配達員が朝夕の配達の際に不審者や事件・事故を目撃した際には、速やかに地元警察署などに通報する。

この日、区総合文化センターへ中央四で開かれた出発式には、多田正見区長や配達員約五百十人が参加。その後、配達員たちはバイクや自転車に乗り込み、白バイや区のパトロールカーに先導されて、会場周辺をパレードした。同組合の菊池正和・組合長代行は「自分たちの街は自分たちで守るという精神で、犯罪件数の減少に向けてパトロールを続けていきたい」と話していた。

読売新聞 2004年12月6日付

東京村.com  
Presented by 東京都よみうり新聞社

記事 / 2002/08/30掲載

### 江戸川区新聞販売同業組合が「熟年者の安心ネットワーク」に協力

読売新聞販売店など八十二店で作る江戸川区新聞販売同業組合が八月から、同区の「熟年者のための安心生活応援ネットワーク」事業への協力を始めた。新聞配達などの際、外見が六十五歳以上に見える人だけで暮らす世帯(独居や夫婦など)を対象に、「新聞がたまっている」「最近、姿を見かけない」など安否に異変を感じた時に同区に通報するもので、平日夜間や休日でも緊急を要する場合は民生委員の当該地区会長が在宅介護支援センターに通報する態勢も確立している。

四月から始まった「ネットワーク」事業は、民生委員や在宅介護支援センターの職員など福祉関連業務で高齢者世帯を訪れる人たちが安否確認・状況把握などを「見守りネットワーク」と高齢者世帯に設置する緊急通報システム「マルくん」(利用者負担＝月額千八百九十円)が二本柱。同組合の協力は前者の一環で、同区では安否確認の機会を増やそうと各種事業者に協力を呼びかけてきた。同組合の参加はその第一号。各販売店の店頭には協力店であることを示すステッカーが張られている。同区は、「毎日の配達を通して異変に気づきやすく、区内全域をカバーできるなど大変心強い」とすこやか熟年課と期待を寄せている。

同区は現在、郵便局とも話し合いを進めており、早ければ秋には同様の安否確認態勢がスタートする見通しだ。

同事業に関する問い合わせは同課幸行係 TEL 5662-0314へ。

編集  
Database Factory  
©2002 Tokyo Shimbun Co., Ltd. All Rights Reserved.

#### ■啓もうチラシ(上:表面、下:裏面)

熟年者の安心生活応援ネット  
協力事業所

最近姿を見ない、新聞がたまっているなど、気になる熟年者の情報は、区役所福祉推進課幸行係までお願ひします  
月～金曜日(平日)8時30分から17時まで  
TEL. 5662-0314(直通)  
※休日、平日時間外のご連絡は、TEL. 5662-0314(留守番電話) FAX. 3652-9857(平日以降の対応になります)  
⇒画面もご覧ください

休日、時間外で緊急に連絡を必要とする場合は、以下にご連絡ください。

① 生死にかかわるなど切迫な緊急事態がある場合は、必ず警察等に連絡してください

警察署(110番)へ  
消防署(119番)へ

② 地域福祉支援センター(区内15か所)への連絡  
土曜日(9時から18時)の連絡は、お近くの地域福祉支援センターにもできます。  
※地域福祉支援センターの受付時間はこちら

③ 区役所への緊急連絡  
上記以外で、緊急に安否の確認が必要な場合は、以下にご連絡ください。(守衛から担当室へ連絡をとりま)

江戸川区役所(休日夜間) 3652-1170

## 安心生活応援ネットワーク

「安心生活応援ネットワーク」とは地域の連携と最新の緊急通報システムにより、熟年者が安心して生活できるように支援していくものです。  
問合せ すこやか熟年課幸行係 ☎(5662)0314

### 地域の連携と協力ですばやく対応!

区役所 熟年者支援サービス(福祉課)の向上・改善活動など  
民生委員 395人の民生委員 信頼できる福祉の相談役  
在宅介護支援センター 困ったときの身近な相談窓口  
目配りが必要な高齢者  
目配りが必要な高齢者  
目配りが必要な高齢者

### 新型の緊急通報システムで24時間安心

家族に65歳以上の方がいる世帯が対象です。

4月1日(月)から受付開始!

申請書に記入し窓口へ  
区から決定(利用料)通知書を送ります  
区と契約している業者が説明のために自宅に伺います  
約束した設置日に取り付け工事を行います

新型の緊急通報システムは、従来のシステムに比べて、対象者が広がり、より安全・安心を守る面で優れています。利用者負担はありますが、区を通して申し込みをすることができます。  
費用 月額1890円  
※生活の状況などにより区からの助成がある場合もあります。

申請書配布・申込受付窓口  
▷幸行係(区役所2階5番) ☎(5662)0314  
▷第二介護相談室(小岩区民館2階) ☎(3657)7702  
▷在宅介護支援センター(左下表参照)

受けることができるサービス

- ペンダントタイプの通信機器の配布や緊急ボタンを押すと救急医療の訓練を受けた警備員が駆けつけます(右図のとおり)
- 生活リズムセンサー・火災感知器の設置や一定時間トイレの利用がないときや火災のときには自動通報をします。
- いつでも、本人からの連絡・相談を受信センターが受け付けます。また受信センターから月1回、安否確認の電話があります。
- 防犯にも役立ちます。

在宅介護支援センター

なぎさ和泉苑	西葛西8-1-1	☎(3675)1201
江東橋	江戸川1-46	☎(3677)4631
晚心苑	北葛西4-3-16	☎(3877)0181
瑞江ホーム	瑞江1-3-12	☎(3679)4102
小岩ホーム	南小岩5-11-10	☎(5694)0101
江戸川光苑	北小岩5-7-2	☎(5612)7193
清心苑	西-2-114-9-21	☎(3655)6117
アゼリー江戸川	本-色2-13-25	☎(5607)7600
ウエス江戸川	平井7-13-32	☎(3618)0324
△泰田ひまわり	北小岩5-31	☎(5622)1165
△山手苑	臨海1-1-4	☎(5650)4122
△さくら	△鹿井3-16	☎(3677)3801

▷14年4月開設予定 ◆14年夏開設予定

「広報えどがわ」2002年3月20日より

# 三重県鳥羽市あらしま地区子どもサポーターの会、安楽島地区青少年育成会

毎日新聞鳥羽専売所 所長 中世古光正

## 子どもたちを地域で守る 地域防犯パトロール活動

### ●実施期間

1997年4月～

### ●実施地域

あらしま  
三重県鳥羽市安楽島地区

### ●活動概要

三重県鳥羽市の毎日新聞鳥羽専売所所長の中世古光正さんは、1997年4月から地域防犯パトロールや青少年を守るサポーターの会を設立、登下校時に小学生に声を掛けながら防犯活動を行っている。

パトロールは、90年代後半から鳥羽市でひったくりや空き巣が頻発したことを受けての活動である。

15年近くにわたる活動により、地区全体としての犯罪発生は見受けられなくなった。

\*

中世古光正 (なかぜこ・てるただ)



通学中の子どもたちとハイタッチする中世古所長(右)



鳥羽警察署にて感謝状を授与される中世古所長(左)



中世古所長(左から2人目)



「あらしま地区子どもサポーターの会」のみなさんが見回りのときに着用しているジャンパー

### 合言葉

地域の宝 どの子もうちの子

- いつでも どこでも 誰でも 少しでも
  - できることから できるところまで
- あらしま地区子どもサポーターの会



のぼり旗を設置

●ボランティアを募り、意識の再確認と子どもたちへの安心メッセージのために、毎月、5の付く日(5・15・25)に校区各地に立てている。



警察庁より貸与されたマグネット式の防犯用品100枚の貸与を受けた



「年末特別警戒取締り」並びに「年末の交通安全県民運動」出動式の模様



**IKUSEIKAI DAYORI 育成会だより**

平成16年11月 1日  
安楽島地区青少年育成会  
事務局 安楽島小学校内  
電話 25-2600

**「守ろう地域の宝 どの子もうちの子」のぼり旗で、子どもたちへの安心メッセージ**

～のぼり旗を立てていただくボランティア募集～

地域の方で「事件・事故・非行から子どもを守る」ためのボランティアを募集しています。

①「5」の付く日(5)のぼり旗を立てるボランティア  
【具体的な活動】子どもたち以外に出ている時間帯を自宅に、ご自宅の近くや通学等途上、左記のぼりを曜日に関わりなく5の付く日(5・15・25日)に立ててください(片付けもお願ひします)。尚、ガードレールや電柱、交通の妨げになる場所は避けてください。

②「ウィンドブレーカー(傘)」を着て、地域の見回り活動ボランティア  
【具体的な活動】活動の日時や場所は問いません。登下校時、家の前を通る子どもたちの様子を外に出て、ちょっと見てください。買い物や散歩のついで等に、子どもたちの様子を気に掛けてください。現在の会員は117名です。

③子どもの避難場所の目印となる「子どもを守る所」のステッカーをお店や自宅の目立つところに貼ってください。※ご協力いただける方は、下記の用紙を育成会役員又は学校(他)まで届けてください。

④「事件・事故・非行から子どもを守る」のぼり旗を立てる活動にボランティアとして参加します(申込書)

◇お名前	◇電話番号
◇住所	◇地区名
◇立てていただく場所(本数) 本 ※大体このあたりという感じでお書きください。	

⑤「事件・事故・非行から子どもを守る」活動(見回り活動)にボランティアとして参加します(再募集)

◇お名前	◇電話番号
◇住所	◇地区名

⑥「子どもを守る所」のステッカー(子どもの避難場所の目印)貼付を引き受けていただく方の募集

◇お名前	◇電話番号
◇住所	◇地区名

# ぷちエコ運動

## 中日新聞瀬戸支部販売店会

### ペットボトルキャップを回収することで 世界の貧しい国の子どもたちにポリオワクチン提供 地元住民から熱望される活動

#### ●実施期間

2009年9月1日～

#### ●実施地域

愛知県尾張地域（瀬戸市、尾張旭市、長久手町、名古屋市守山区の一部）

#### ●活動概要

中日新聞瀬戸支部販売店会では、2009年9月から社会貢献の一環として、ペットボトルのキャップを回収し、リサイクル業者、NPO法人を通じて、世界の貧しい国の子どもたちにポリオワクチンを提供している。

同販売店会発行のミニコミ紙「中日ホームニュース」で読者に呼びかけ、回収は各販売所が窓口となり、キャップを回収する。環境保護や再資源化にもつながる取り組みである。8月23日現在、411万3,200個（800個＝ワクチン1本）回収している。

当初の活動終了予定から、続けてほしいとの地域の声を受けて、現在も継続している。

\*

中日新聞瀬戸支部販売店会＝瀬戸市、尾張旭市、愛知県長久手町の中日新聞系統28販売店で組織。三宅慎介（みやけ・しんすけ）代表

#### ■ぷちエコ運動について

告知・収集方法	告知は中日ホームニュース紙面で呼び掛けるとともに、瀬戸支部28店の各販売店でポスターを提示。回収は各販売店が窓口となり、読者に50個単位で持ち込んでもらう形で実施。店ごとに集計し、ある程度たまったら編集室に持ち寄る形式とした。
ワクチン寄付までの流れ	読者→中日新聞販売店→編集室→リサイクル業者「名古屋商事」(小牧市)→NPOエコキャップ推進協会→NPO世界の子どもにワクチンを日本委員会→世界の子どもたちへ
経過	当初の運動終了予定日(2009年11月30日)までに、63万3,200個を回収。目標をはるかに超える数になった。しかし「続けてほしい」という地域の声を受けて、継続することを決定した。
現在	今年で3年目を迎え、2011年5月19日現在、回収総数は約361万9,200個となっている。

〈備考〉  
現在、エコキャップの売上金を東日本大震災への義援金としても活用している。

#### ■エコキャップ回収の協力を呼びかけるチラシ

NPO法人(内閣府認証) エコキャップ推進協会 ECOCAP 中日新聞<瀬戸・尾張旭・長久手>販売店からのお知らせ

## ぷちエコ運動は

東日本大震災の義援金になります  
今後とも引き続きご協力をお願い致します

東北地方太平洋沖地震の支援について皆様へお願い  
この度の東北地方太平洋沖地震により、被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。エコキャップ提供の皆様には、エコキャップ活動に大変なご協力を賜り心より感謝申し上げます。

既にご承知のように私たちが初めて遭遇した未曾有の災害が発生し被災地では想像を絶する事態となっております。激震から巨大な津波それに伴う沢山の犠牲者、一人でも多くの方々の無事の救出を必死の思いで祈っております。加えて地震の影響を受けての原発の事故すべてが今まで私たちが経験した事がない大震災になっておりテレビ、新聞などの報道を見るたびに心が痛みます。このような極めて厳しい被災地の状況に鑑み、私たちはエコキャップの売上金を東北地方太平洋沖地震への義援金に充てさせて頂きたいと考えております。

本来の目的であるワクチン提供への寄付活動は継続致しますが、今日の困難とも言える事態を乗り越えて行くといった観点からの当面の対応として皆様には是非ご理解を賜りたいと存じます。

エコキャップを提供して頂いております全国の沢山の方々、エコキャップ活動を通じて私たちと一緒に被災地の皆様を支えて行くことではありませんか。なお、具体的な実施内容についてはエコキャップ推進協会のホームページ、エコキャップの受領書にてご報告させて頂きます。

皆様を引き続きのご協力を衷心よりお願い申し上げます。

平成23年3月16日  
エコキャップ回収事務局 代表 三宅慎介 敬啓

中日新聞〇〇〇〇専売店 〇〇市〇〇町〇-〇〇  
〇〇新聞店 TEL 〇〇-〇〇〇〇

瀬戸 尾張旭 長久手  
**中日ホームニュース**  
発行所 瀬戸中目サービス 編集 〇561(21)9038 FAX(05)8404 homenews@nifty.com

増改築して家族の夢かなえようよ。リホーム瀬戸

## ぷちエコ運動にご協力を

500人分のワクチンを！  
キャップ800個でワクチン1本分

9月1日～回収スタート  
50個1ロで最寄りの中日新聞販売店まで

ペットボトルキャップで世界の子供を救おう

キャップ回収の流れ  
各家庭 → 中日新聞販売店 → ホリデイリサイクル → リサイクル業者 → NPO団体 → ワクチンとして世界の子供たちへ

「中日ホームニュース」  
2009年8月28日付  
(第493号)

## 緊急告知

### ペットボトルキャップ回収デー決定!

日時 3月27日(日)午前11時～午後4時  
内容 希望者宅に戸別訪問にてキャップを回収に伺います

☆ 回収ご希望の方は3月25日(金)までに下記販売店へご連絡ください

\*\*\*\*\* お願い \*\*\*\*\*  
キャップは飲料用ペットボトルに限ります  
キャップは洗ってシールは必ずはがして下さい  
\*\*\*\*\*

## キャップ100個で粗品プレゼント

集計日	キャップ	増えた数	ワクチン	増えた数
21/12/2	633,200	*****	792	*****
21/12/10	686,471	53,271	858	67
22/1/9	752,333	65,862	940	82

22/12/8	2,474,662	41,536	3,093	52
23/1/19	2,714,640	239,978	3,393	300
23/2/10	2,792,396	77,756	3,490	97

中日新聞 加藤新聞店  
TEL 84-3466

## エコキャップ受領書

2011年5月25日  
分類名 会社

中日新聞瀬戸支部 販売店会 御中

ご住所 愛知県瀬戸市西原町2-81-4  
FAX番号 0561-85-8404

今回受領個数: 238,800 個  
累計個数: 3,619,200 個  
ワクチン: 4,524.0人分

ご協力ありがとうございます。皆様のご厚意を大切に致します。

受取日	数量	個数(約)	備考
2011/05/19	597 Kg	238,800 個	上野・松澤様
合 計		238,800 個	

1Kgを400個として計算しています。800個でポリオワクチン1人分が購入できます。1Kg(400個)が換却されると3.15KgのCO2が発生します。

(1)平成19年12月～20年10月 3,125,902円 (4)平成22年6月 15,000,000円  
(2)平成21年5月 5,378,000円 (5)平成22年11月 18,000,000円  
(3)平成21年11月 10,100,000円 合計 51,603,902円

JCV(NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会)へ寄付致しました。

※皆様の受領個数は当協会HPの「キャップ回収実績」に随時、掲載させて頂きます  
今、ミネラルウォーターを購入すると、エコキャップが「着払い」で送れます  
詳しくはエコキャップ推進協会のHPでご確認ください <http://ecocap007.com/>

この受領書がPDFファイルでメール送信できるようになりました  
メールでの受信希望の方は当協会ホームページからお申し込みください  
<http://ecocap007.com/add/regadd.html>  
メールフォームに必要事項(FAX番号、お名前は忘れずに)をご記入の上、送信ください  
ユーザー名: ecocap パスワード: ecomail でアクセスできます

